



東校だより

7月号

令和3年6月30日
横浜市立東小学校
校長 保科 桂子

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/azuma/>

大切に育てる

校長 保科 桂子

3年生が教室の前の廊下でカイコを育てています。担任がもらってきた卵は封筒に入っていました。幼虫が食べる桑の葉をあげ、ふんの片づけをし、大切にお世話をしています。100匹以上いるでしょうか。新幹線に似た白い幼虫は、次第にまゆを作っているところです。3年生は理科の学習でモンシロチョウの青虫を育てて、蝶に羽化させることもできました。

2年生の教室では、外国語活動で「はらぺこあおむし」を、1年生では、「くまさん、くまさん、なにみているの」を、AETのアラン先生から読んでもらっていました。いずれも、絵本作家エリック・カールの代表作で、色使いが鮮やかで美しく、生き物は生き生きと、食べ物はおいしそうに、子どもたちの心をひきつける絵本です。我が家の息子たちも大好きでしたし、私も外国語活動で授業をするときに使ったことがあります。エリック・カールさんは先月病気のため91歳で亡くなりましたが、素晴らしい絵本の数々はこれからも、たくさん子どもたちに愛されることと思います。

1年生はアサガオを育てています。朝登校してきたときに、水やりをするお子さんたちの姿も見られます。子どもたちの植木鉢では芽生えた苗をすべて育てるのは難しいため、野毛山幼稚園の年長の皆さんに、苗を分けて届けることにしました。先日、給食の牛乳パックに入れた苗とお手紙を手に、野毛山幼稚園を訪問しました。この状況のため密を避け、園庭で一人ひとり手渡すことができました。

「幼児教育から小学校教育の接続」が学習指導要領に盛り込まれました。東小学校では、今年度より3年間、野毛山幼稚園とともに、横浜市こども青少年局の幼保小連携推進地区事業の取組を行います。幼保小連携推進地区事業は、「幼児教育と小学校教育との円滑な接続と双方の保育・教育質向上を目指し、幼稚園、保育園と小学校が協働で連携や接続の推進に取り組み、その研究成果を幼児教育・小学校教育の充実につなげる」ことを目指していきます。小学校に入学することは、お子さんにとって大きな環境の変化があります。安心して入学して小学校生活を送るためには、小学校が幼児教育について知ったり、園と小学校が連携したりすることが大切です。東小学校には多くの幼稚園・保育園からお子さんが入学してきますが、野毛山幼稚園との交流を中心に、よりよい教育活動ができるよう研修・研究を深めていければと考えています。今回のアサガオはそのはじめの一歩です。

多くの体験が子どもたちの土台の一部となっていきます。知識だけでなく、気もちや態度を育てていきます。「どんな活動をしていくな」子どもたちと相談したり、流れを考えたりしながら、体験を重ねていきたいです。学びの様子、交流の様子は随時お知らせしていきます。